

法医学

| | | | | | |
|--------------|----|--|----|------|--------|
| 責任者・コーディネーター | | 法医学分野 高宮 正隆 教授 | | | |
| 担当講座・学科（分野） | | 法医学分野、法歯学・災害口腔医学分野、救急・災害医学講座 | | | |
| 担当教員 | | 高宮 正隆 教授、熊谷 章子 准教授、藤田 友嗣 講師、新津 ひさえ 助教、六本木 沙織 助教、岩瀬 博太郎 非常勤講師 | | | |
| 対象学年 | 4 | 区分・時間数 | 講義 | 17コマ | 25.5時間 |
| 期間 | 前期 | | 演習 | 0コマ | 0.0時間 |
| | | | 実習 | 6コマ | 9.0時間 |

・学習方針（講義概要等）

医学に関わる法的・社会的問題を学び、公衆衛生、社会福祉、基本的人権の保護に貢献する。

・教育成果（アウトカム）

医学に関わる法的、社会的問題を理解することで、的確な事例対応ができるようになる。

（ディプロマ・ポリシー： 4,7,8 ）

・到達目標（SBOs）

| No. | 項目 |
|-----|-------------------------------|
| 1 | 法医学が果たすべき社会的役割について説明できる。 |
| 2 | 生活反応、死後変化を説明できる。 |
| 3 | 各種損傷の成因、所見を説明できる。 |
| 4 | 窒息死体の所見および死に至る機序を説明できる。 |
| 5 | 異常環境死の所見を説明できる。 |
| 6 | 突然死、内因性急死の医学的・社会的問題について説明できる。 |
| 7 | 異状死体の死因検索法、法的取り扱いについて説明できる。 |
| 8 | 個人識別および遺伝的多型につき原理を説明できる。 |
| 9 | 法医中毒学に対する基礎的知識を説明できる。 |
| 10 | 法歯学に対する基礎的知識を説明できる。 |
| 11 | 虐待について説明できる。 |
| 12 | 死後画像診断について説明できる。 |

・講義場所

講義：東1-D講義室 実習：西2-A実習室

・講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

| 区分 | 月日 | 時限 | 講座（学科） | 担当教員 | 講義内容 | 到達目標番号 |
|----|---------|----|--------|-----------|---------|--------|
| 講義 | 4/6(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 法医学総論 | 1,7 |
| 講義 | 4/6(水) | 2 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 死体現象 | 2 |
| 講義 | 4/13(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 内因性突然死 | 6 |
| 講義 | 4/13(水) | 2 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 損傷-1 | 3 |
| 講義 | 4/20(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 損傷-2 | 3 |
| 講義 | 4/20(水) | 2 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 銃創 | 3 |
| 講義 | 4/27(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 窒息-1 | 4 |
| 講義 | 4/27(水) | 2 | 法医学分野 | 新津 ひさえ 助教 | 法医中毒学-1 | 9 |

| | | | | | | |
|----|---------|---|--|---|------------------------|----|
| 講義 | 5/11(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 窒息-2 | 4 |
| 講義 | 5/11(水) | 2 | 法医学分野 | 新津 ひさえ 助教 | 法医中毒学-2 | 9 |
| 講義 | 5/18(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 異常環境による外因死 | 5 |
| 講義 | 5/18(水) | 2 | 法医学分野 | 岩瀬 博太郎 非常勤講師 | 特論 死後の画像診断 | 12 |
| 講義 | 5/25(水) | 3 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 個人識別と硬組織 | 8 |
| 講義 | 5/25(水) | 4 | 法歯学・災害口腔医学分野 | 熊谷 章子 准教授 | 法歯学 | 10 |
| 講義 | 5/25(水) | 5 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 嬰兒殺・児童虐待 | 11 |
| 講義 | 6/1(水) | 1 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 血液型・血清型・HLA型 | 8 |
| 講義 | 6/1(水) | 2 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | DNA型 | 8 |
| 実習 | 5/16(月) | 3 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 前班-1 薬毒物検査 | 9 |
| 実習 | 5/16(月) | 4 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 前班-1 薬毒物検査 | 9 |
| 実習 | 5/16(月) | 5 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 前班-1 薬毒物検査 | 9 |
| 実習 | 5/17(火) | 3 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 後班-1 薬毒物検査 | 9 |
| 実習 | 5/17(火) | 4 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 後班-1 薬毒物検査 | 9 |
| 実習 | 5/17(火) | 5 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 後班-1 薬毒物検査 | 9 |
| 実習 | 5/23(月) | 3 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 前班-2 非常食の検討 | 1 |
| 実習 | 5/23(月) | 4 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 前班-2 多数死体対応シミュレーション | 1 |
| 実習 | 5/23(月) | 5 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 前班-2 死亡診断書・死体検案書作成 | 7 |

| | | | | | | |
|----|---------|---|--|---|----------------------------|---|
| 実習 | 5/24(火) | 3 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学 分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 後班-2 非常食の検討 | 1 |
| 実習 | 5/24(火) | 4 | 法医学分野 法医学分野 法医学分野 法歯学・災害口腔医学 分野 救急・災害医学講座 | 高宮 正隆 教授 新津 ひさえ 助教 六本木 沙織 助教 熊谷 章子 准教授 藤田 友嗣 講師 | 後班-2 多数死体対応シミュレー ション | 1 |
| 実習 | 5/24(火) | 5 | 法医学分野 | 高宮 正隆 教授 | 後班-2 死亡診断書・死体検案書作 成 | 7 |

・教科書・参考書等

| 区分 | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|------|----------------------|--------------|--------|------|
| 教科書 | NEWエッセンシャル法医学 第6版 | 高取健彦 監修 | 医歯薬出版 | 2019 |
| 教科書 | 法医学 改訂3版 | 福島弘文 編 | 南山堂 | 2015 |
| 教科書 | 臨床のための法医学 第6版 | 澤口彰子 | 朝倉書店 | 2010 |
| 推薦図書 | 死体検案ハンドブック 第4版 | 近藤稔和 木下博之 編著 | 金芳堂 | 2020 |
| 推薦図書 | 死体検案マニュアル 5版 | 日本法医学会 編 | 日本法医学会 | 2017 |
| 参考書 | 臨床中毒学 | 相馬一玄 監修 | 医学書院 | 2009 |
| 推薦図書 | 虫から死亡推定時刻はわかるのか? | 三枝 聖 | 築地書館 | 2018 |
| 推薦図書 | 事例でわかる死亡診断書・死体検案書記載の | 岩瀬博太郎 | 医歯薬出版 | 2020 |

・成績評価方法

| |
|---|
| <p>【総括評価】 進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。</p> <p>【形成的評価】 小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。 実習中の口頭試問および毎時間の実習内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。</p> |
|---|

・特記事項・その他

| |
|---|
| <p>講義： 1. 法医病理学 2. 法医中毒学 3. 法医血清学・DNA多型学 4. 法人類学・法歯学</p> <p>実習： 1. 薬毒物検査 青酸・金属化合物の予試験、農薬の定性試験、血液中の一酸化炭素検出、乱用薬物スクリーニング 2. 非常食実食 3. 多数死体対応シミュレーション 4. 死亡診断書・死体検案書作成</p> <p>シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。”</p> |
|---|

・教育資源

| |
|----------------------------|
| 教科書・参考書、講義室、実習室、シミュレーション検体 |
|----------------------------|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|-------------------|----|----------------|
| 実習 | 分光光度計 | 2 | 薬毒物検査 |
| 実習 | ヒートブロック | 1 | 薬毒物検査 |
| 実習 | ドラフト | 1 | 薬毒物検査 |
| 実習 | 電子天秤 | 1 | 薬毒物検査用試料の作製 |
| 実習 | タッチミキサー | 1 | 薬毒物検査用試料の作製 |
| 実習 | 超音波洗浄機 | 1 | 薬毒物検査用試料の作製 |
| 実習 | 遠心分離機 | 1 | 薬毒物検査用試料の作製 |
| 実習 | 多数死体対応シミュレーションキット | 10 | 多数死体対応シミュレーション |
| 実習 | ホワイトボード | 5 | 多数死体対応シミュレーション |
| 講義 | ノートパソコン lifebook | 1 | 講義 |